

第7回 新見市地域審議会次第（会議要旨）

日 時 平成30年1月23日（火）

午後1時30分～午後2時35分

場 所 新見市役所南庁舎1階 会議室1C

委員総数：16名 出席者数：15名

傍聴者：1名

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）各部会における協議状況について

○文化・産業のまち部会

- ・最大の課題は人口減少で、産業を振興し雇用を確保することが大事である。昭和30年頃までは比較的農業が元気な時代であった。
- ・「農林水産業」については、新見市が誇るA級食材などがいつでも手に入る施設（例：道の駅）の整備や、インパクトのある看板設置の必要性などについて協議している。
- ・「教育」については、来年、県が「県立高の教育体制整備実施計画」を策定し県立高校のあり方を示すのを受け「明日の新見高校を考える会」が立ち上がったが、現在の出生数を見ると、将来新見市の子ども全員が通っても、定員数に満たない時代が来る。
- ・和気町では、ベネッセ社員や、岡大学生などの人材を活用した「無料公営塾（英語）」を開設したり、和気閑谷高校では商業系の科を「キャリア探求科」に改め、地域課題に向き合う取組のほか、県内で初めて生徒の全国募集を始めるとのことであり、これらを参考とし提言書をまとめたいと考えている。

【質疑】

- ・学校給食での自給率（地産地消率？）の状況はどうか。
⇒県内でも比較的高い状況にあるはずである。
- ・「満天星空レストラン」という番組で、真庭市が舞台となり紹介された「銀沫（ぎんしぶき）」という芋が手に入らない状況となった。同時に、新見市の精肉店で牛肉を販売するシーンがあったが、なぜか「千屋牛」ではなかった。この辺もPR力の低さかと思う。

○福祉・環境のまち部会

- ・今年は「防災」に関する提言をまとめる予定である。
- ・自然災害を最小限に抑えることが大事で、総合防災連携システムの構築や防災センターの設置などの提言を視野に協議している。